

彦根のまち・ひとへの思い

～彦根市歴史的風致維持向上計画に寄せる～

彦根市歴史的風致維持向上計画の策定には、学識経験者、地域住民、関係機関など20人の委員が参加した。彦根市歴史的風致維持向上協議会での検討結果が盛り込まれています。歴史的風致形成建造物の指定など、昨年10月から協議を進めてきました。協議の中では、地域ごとの伝統的な祭への取り組みや、歴史的建造物を残すだけではない、などの活発な議論がありました。その中から、会長の吉見静子さんと委員の2人から彦根のまちなみや生活する人の営み、次世代への思いを聞きました。

吉見静子さん
(京町一丁目)



今回の認定は、彦根の文化財やまちなみを再認識する機会になると思います。彦根には、大切な文化財、美しい風景がたくさんあります。国宝・彦根城築城400年祭が成功したのは、これまでに建造物などを本格的に修理・維持してきたことも要因の一つだと思います。大切に残していきたい、という人々の思いとエネルギーが、見る人に伝わるからです。彦根のまちなみにも、先人が大切に、人の心を豊かにするものが多く残っています。まちなみも市民が知恵を出し合って、きちんと保存・活用されていくことが大切です。そのためには、まちなみと現代の生活とが調和するような、住み方の提案も必要になるでしょう。

大橋良治さん(京町二丁目)



建造物の活用法については、みんなで考えていかなければなりません。彦根には情緒ある建造物が、「点」のようにポツンポツンとあります。この「点」をいかに活用するかが大事です。点と点を結んで、「線」から「面」にして、目に見える効果や工夫が必要でしょう。四番町スクエアや夢京橋キャッスルロード、花しょうぶ通り商店街では、「面」での成果があると思います。建造物を修理して保存するだけではもったいないのです。そこで、建造物の周辺の地域の人々が、認定をどのように感じるかを確認する必要があります。地域の人を中心にPRして、話をしていくことが大切です。活用するアイデアも、みんなを出していく必要があります。

竹内洋行さん(河原二丁目)



ベロタクシー事業を中心に活動しています。訪れた人などに、彦根の情緒がある場所などを案内します。風情があるまちなみが残っていると話が弾みます。ときには、路地を通るときに、地元の人から「この石垣見てみい」などと話しかけてもらえることもあります。案内する時には、ガイドブックに書いてあることよりも、私たちが自信を持って「彦根のここがいい」と言つと喜んでもらえます。地域の人々が、地域の良さを知ってもらって、若い世代に自信を持って彦根のまちなみのいいところを伝えていけたらいいですね。地域とのつながりの中で生かしてもらっていると感じます。まちなみの愛情を引きついでもらうためにも、若い世代と世代間交流をしていきたいです。

歴史的なまちなみを残していく取り組み

彦根市の歴史的風致を維持向上するためには、基本方針にもとづく施策が必要です。各施設の整備には、良好な管理を行った上で、その施設が持つ価値がじゅうぶんに発揮できるような活用が必要です。

特に、歴史的風致形成建造物となる建造物の保全修理については、じゅうぶんな調査の実績をふまえて、史実に基づいた整備をして、施設ごとの管理方針を策定します。

そこで、事業の概要と事業内容を下の図で紹介いたします。

彦根の歴史的風致を維持していく事業は、大きく分けて2つあります。一つは施設の整備事業。歴史的な建造物の保存修理や、特別史跡の調査・整備があります。そのほかにも、歩行者や自転車のネットワーク作りのための道路の整備があります。

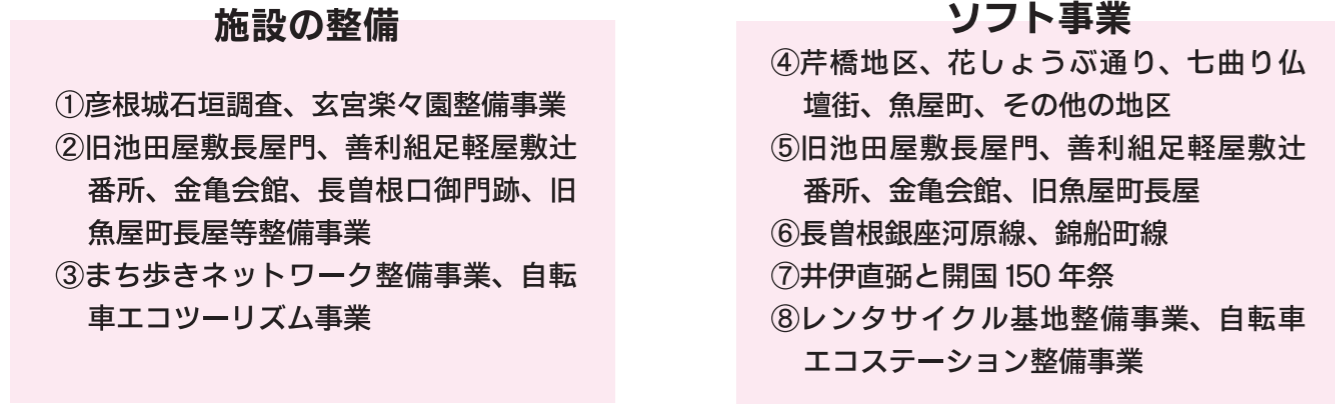
二つ目は、ソフト面の事業です。まちづくり計画の策定や、地域を盛り上げるための行事の開催や、歴史的建造物を活用するための事業などを行います。

これらの事業には、地域の活動を支援するものもあります。市民の皆さんとともに、彦根の歴史的風致を大切に、後世に伝えていきます。

維持向上に向けた事業の概要



維持向上に向けた事業の内容



※事業概要の番号が、事業内容の番号に対応します。